

大阪市環境白書の刊行にあたって



本年は国連が定める「国際生物多様性年」であり、10月には、生物多様性条約第10回締結国会議（COP10）が名古屋市で開催されるなど、自然共生社会の実現に向けた重要な節目の年に当たります。

また、地球温暖化への世界規模での対応はもちろん、日々の生活に密着したごみの減量やリサイクルの促進など、今、社会活動のあらゆる場面で、環境への配慮が求められています。

さらに、環境は、国の成長戦略においても重点分野に位置づけられており、高い技術を持つ強みを活かして、新しいビジネスと雇用の創出を図る施策が総合的に実施されています。

こうした中、大阪市では、太陽光発電の大規模展開や電気自動車の普及拡大をはじめとする成長産業への重点的な投資を積極的に行い、社会の低炭素化と経済の活性化の両立による持続可能な社会づくりに取り組んでいます。

また、「水の都」ならではの自然資源を活かした多様な生態系ネットワークの保全、市民の皆様との協働による市役所庁舎など建物の屋上・壁面緑化の促進や、ごみの減量の推進などに取り組み、「環境先進都市・大阪」、将来にわたって活力あふれる「元気な大阪」の実現をめざしております。

本書は、平成21年度における大阪市の環境の状況や施策の実施状況を取りまとめたものであり、今後さらに改善していくべき課題や今年度の重点的な取り組み内容も示しています。今後とも、「いっしょにやりますよ！」を合言葉に、市民や事業者、環境NPO・NNGOの皆様のお力を借りて、環境にやさしいまちづくりを進めてまいりますので、一層のご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

大阪市長 平松 邦夫